

OSAKA

かなん

議会だより

かなん桜小学校
3年生議場見学

令和6年6月定例会議
令和6年5月臨時会議・全員協議会

議案審議・審議結果など P 2~6
これが聞きたいねん一般質問 P 7~15 ほか

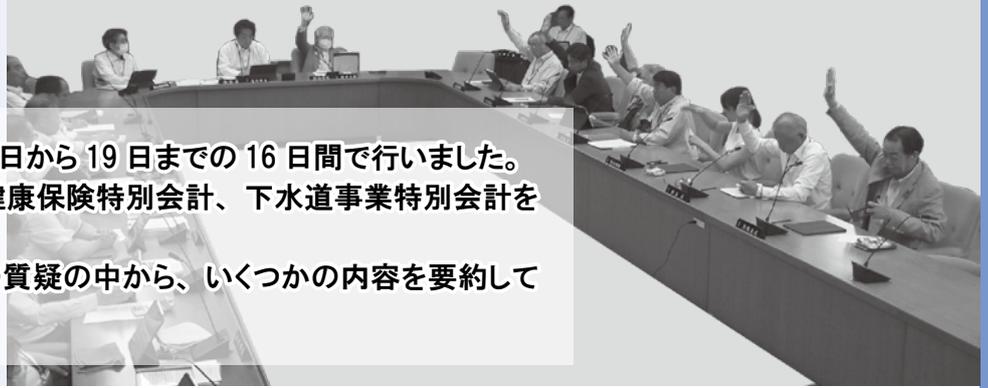
2024.9 No.164

発行/河南町議会
編集/広報常任委員会

6月定例会議



予算・決算常任委員会



令和6年6月定例会議は、6月4日から19日までの16日間で行いました。補正予算の一般会計と、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計を審査し、可決しました。ここでは、本会議や委員会での質疑の中から、いくつかの内容を要約してお伝えします。

予算・決算常任委員会

住みよいまちへ

誰もが安心して楽しんで、
日常の生活ができるまち

◆ 減災対策を推進し 安全・安心な町へ

問 河川浚渫工事と河川改修工事が毎年行われているが、その理由は何か。

答 改修工事は、台風や大雨などの異常気象時に対する護岸保護で、周辺地域への影響を食い止める防災としての側面がある。浚渫工事は、通水断面の確保により、通水をスムーズにする洪水対策という側面があり、防災と治水という両面で工事を進めている。

問 中地区の農業水路改良工事の地元負担金はなぜ生じるのか。

答 土地改良法に基づく事業で、特定受益者の為の工事となるので受益分に応じた負担をしていただく。

◆ カーブミラーを保守点検し、 交通安全の安全を確保

問 カーブミラーの保守点検が行われているが、補修作業もその都度行うのか。



▶カーブミラー

答 鏡面の清掃や、ボルトを締める増し締め程度の簡単なものは点検の際に行う。

◆ 命を守るヘルメットをかぶろう
問 自転車のヘルメットの購入補助の対象者は。

答 年齢制限は設けない。

◆ 自然災害の備えは平時から
問 コミュニティタイムラインを進めるには。

答 作ろうという機運醸成が必要。地域と連携しながら、やっていく。

◆ 安心して暮らせる

問 重層的支援の内容は。
地域共生社会に向けて

〈主な事業内容〉 ◎は、今回掲載している事業

◎ 自転車用ヘルメット購入補助事業	20 万円
土砂災害特別警戒区域内家屋移転・補強事業	943 万円
◎ 準用河川天満川改修事業	1,653 万円
防災備蓄倉庫改修事業	3,700 万円
◎ タイムライン策定事業	47 万円
◎ 森林学習推進事業	89 万円
◎ 2025年万博子ども招待事業	9 万円
集会所改修事業	1,673 万円
◎ 重層的支援体制整備事業	678 万円
◎ がん患者アピアランスサポート事業	20 万円
予防接種事業	3,139 万円
◎ マイナ保険証一体化対応事業〈国保特会〉	1,025 万円
町道整備事業	3,050 万円
観光プロモーション強化事業	378 万円
◎ スマート窓口システム事業	889 万円
◎ デジタル田園都市推進事業（公開型・統合型GIS導入）	6,393 万円

【答】 認知症や虐待、生活困窮など、対応の難しい複雑化・複合化した課題解決のために、町に一名、社協に一名、職員を委託し、相談支援や地域の資源づくりなどの取り組みを進める。

◆ 住民福祉の向上に寄与する

公共交通を指して

問 バス問題の課題は、何か。

【答】 住民の移動手段の確保が一番大きな命題で、乗務員確保が一番大き

な課題である。もう一点は、財源負担の問題であると考え。バス運行を持続可能とするために、方策を検討する。

◆ がん患者

アピアランスサポート事業

問 医療用ウィッグ購入助成の内容とは。

【答】 ウィッグは上限2万円。乳房の補正具は、左右それぞれに2万円の補助を行う。最大合計6万円。

子育て・教育のまち

子育て・教育は河南町で。子育て世代を応援するまちづくり

◆ 行こうよ！万博へ！

問 招待事業に参加する理由は。

【答】 子どもたちの未来のために参加したい。

問 現地まで行く手段は。

【答】 バスの移動を想定している。スクールバス利用は、検討の選択肢として考える。



▶ 大阪府万博子ども招待事業

◆ 森林教育体験を通じて

環境保全への関心を高める

問 森林体験学習の提案は。

【答】 かなん桜小学校で学校林活動を行っているが、森林環境譲与税を活

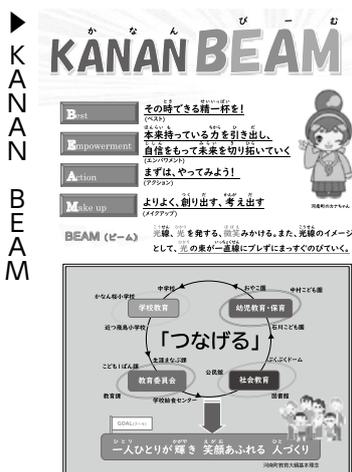
用して、環境問題を考え、さらなる充実を図っていく。

◆ 子育てと教育の充実は、

町の未来を支える重要な課題

問 教育大綱の基本理念について説明を。

【答】 「一人ひとりが輝き 笑顔あふれる人づくり」というのが基本理念で、実現するためにKANAN BEAMの頭文字に意味を込めて、「B」ベスト 最善を尽くす。「E」エンパワーメント 子どもの力を引き出す。「A」アクション まずはやってみて。「M」メイクアップ 創り出す。この考えのもとに学校教育・幼児教育・社会教育・教育委員会をつなげて、子育て、教育充実のため力を尽くしたい。



▶ KANAN BEAM (次ページへ続く)

まちの魅力、創造のまちへ

まちをかたちづくる基盤整備。
新しい文化を創出するまちづくり

◆ 農業は本町の主要産業

問 遊休農地、耕作放棄地の課題解決は。

答 農業版地域計画を策定し、その計画のもとに今後進めていく。

◆ 万博に向けた機運醸成

問 万博で河南町のPRは考えられるのか。

答 いろんなイベントに積極的に参加して、町をPRするなど考えられる。

◆ 道の駅かなんを介し、販売に注力

問 近鉄グループとの連携はどのような効果を産むのか。

答 民間事業者との連携で道の駅の拡張部分への誘致も含めて、PR活動を進める。

◆ 連携の成果は。

答 あべのハルカスで河南町のコーナーを設け、町内産の果物や野菜販

売をしている。配送する輸送ルートを活用して輸送し、イベントの企画品を展開。40社の企業と交渉し、道の駅拡張事業のシーリング活動を行い、販路の拡大につなげている。

住民サービスと行財政改革を推進するまちへ

デジタルの活用によるサービスの向上と持続可能なまちづくり

◆ 基礎自治体の

将来の在り方を考える

問 2町1村未来協議会のあるべき姿は。

答 広域的にやるもの・協働してやるもの・合併も選択肢の一つで、方向性はこれからだ。

◆ サービス向上と

持続可能なまちづくり

問 デジタル活用によるサービスの向上と持続可能なまちづくりとは。

答 デジタル活用で、スマート窓口を開設。デジタルマッピングは地図情報のGISシステムを使って、い

ろんな情報を載せ、利便性を図る。省力化をやることにより、効率化を目指す。

特別会計の主な質疑

令和6年度河南町国民健康保険特別会計補正予算

◆ 国民健康保険の

被保険者証は廃止へ

問 マイナ保険証を持たない資格者証の対象者は何人いるのか。

答 国保被保険者3000人に対してマイナ保険証の登録者が1900人なので、残りの1000人が資格者証の対象者になる。

問 紙の保険証の有効期間はいつまでか。

答 令和6年11月1日から令和7年10月31日まで有効となっている。

◆ 短期証の発行はどうなる。

答 被保険者証の廃止に伴い、短期証も廃止となり、特別療養費という支払い方法に変更になるので、事前通知し注意喚起する。

問 マイナ保険証を持っていない人のフォローは。

答 申請に基づいて資格確認証を発行する。



令和6年度河南町下水道事業特別会計補正予算

◆ 委託や工事などの

事業にかかる補正

問 下水道事業会計は赤字が続いているが、今後どうなる。

答 一般会計から繰り入れしているので赤字であるというのを周知しつつ、値上げも一つの選択肢として考えている。

問 ハザードマップを作って、次のステップはどうなる。

答 今回作成するマップは浸水想定区域図で、住民の方に浸水区域を指定し周知するための浸水対策計画で、今後これを活用し、暗渠（あんきよ）排水管や側溝などで雨水対策事業を行っていく。

全員協議会

全員協議会は、今後の町政で考え・実行していく重要なことに関して、町側から議会に対して説明するところです。5月13日に全員協議会が開催され、下記の事柄について議論されました。

河南町国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)(第3期)と特定健康診査等実施計画(第4期)の素案

問 この計画の中の対象項目に認知症が入っていないようだが、この辺のところを今後どうしていくつもりなのか。

答 今回計画したのは生活習慣病である。悪い生活習慣が続けば様々な病気にかかるので、生活習慣を改善することにより医療費を安くできると考えている。そのあたりをまず重点的にやった後に、可能であれば今後の課題である認知症などといったところに発展するのではないかと考えている。

問 コロナによる後遺症が問題になってきている。そういう表現を入れなくても良いのか。

答 この計画は、河南町の国民健康保険の被保険者の健康状態を見て、血糖が高いなどの様子があれば、今後どうするべきかを考えるような計画。そのため、コロナの後遺症は範疇に入っていないと認識している。しかし、令和8年度に中間評価するので、その際にレセプトで分析したところ、そういったコロナ後遺症の傾向が見られた場合は、計画を変えていく必要もあるのではないかと考えている。

問 60代、50代に対する広報や勧奨についてはどのように考えているのか。

答 その年代の方であってもレセプトがない方は、健康なのか、それとも病気を患っているが病院を受診していない方なのかを把握することが出来ない。そのような方に対するアナウンスとして、「受診して下さい。」という未受診者用の勧奨はがきを送付している。

かなんぴあ価格改定

問 若年層を取り込むために、料金以外で何かメニューを打ち出しているのか。

答 高齢者の利用者が多いので、ジムのマシンや筋力増強のための指導方法を若者向けに出来ないか、などを考えている。

問 業界の大手などでは、ちょこっと行くだけの使い方であったり、栄養に関するアドバイスを受けられたりといったような工夫をしている。料金を考えるだけではなく、メニュー内容をもっと考えていただきたいが、担当課からコナミに何か提案することはできないのか。

答 会員数を増やすというのが一番収益を上げるのに繋がると思う。例えば、敬老の日に65歳以上の利用者に何か特典を付けたり、スポーツの日に無料体験の機会を設けたり、そんな手法をコナミと協議していかなければと考えている。

コナミスポーツにおける学校水泳授業指導業務の受託

問 羽曳野市の学校授業で使用することによりプールが痛むことが考えられる。施設改修は河南町がしなければならないが、その分のお金は入るのか。

答 改修費が幾らというふうな考えではなくて、河南町が負担している光熱水費を日数割などで計算をし、水泳することによる実費分や、その都度の使用料も含めた施設使用料を求めていきたい。河南町とコナミで覚書を交わし、その中で使用料の方を定めていきたいと考えている。

人事案件に同意

◆ 副 町 長

えじま よしたか
江島 芳孝 さん

任期：令和6年5月15日から
令和10年5月14日まで(4年間)

◆ 監 査 委 員

まつだ まさふみ
松田 政文 さん

任期：令和6年6月7日から
令和10年6月6日まで(4年間)

「へ～、知らなかった！
議会のお仕事」
～シリーズ議会⑩～
「常任委員会・特別委員会」
ってなに？



常任委員会とは、条例で設置が決められている委員会であり、特別委員会とは、必要に応じて町議会の議決で設置を決めている委員会です。

議会には本会議中心主義と委員会中心主義があり、河南町は委員会中心主義です。

現在、河南町の条例で規定されている常任委員会には、総務建設常任委員会、福祉文教常任委員会、広報常任委員会、予算・決算常任委員会があります。

一方、特別委員会は特定の問題について調査・審査するため、議会が特に必要と認められた時に設置するものです。

常任委員会と議会運営委員会、町条例で名称や委員数、任期などが定められていますが、特別委員会には町条例による決まりがなく、議会の議決をもって必要な時に設置することができます。

過去河南町に設置された特別委員会には、地域公共交通対策特別委員会、議会改革特別委員会、水道料金改定等特別委員会などがあります。

町政における様々な課題を解決するためには、詳しい調査と議論が不可欠です。

これから将来、大きな問題が起きた場合は、議会と行政が丸となり課題解決に向けた議論が必要になります。

その時は、新しい特別委員会が設置されることになるのです。

審議結果

5月臨時会議

全会一致の可決・同意議案	
件	名
副町長の選任について	

6月定例会議

各議員の表決 (○…賛成、●…反対、△…除斥、/…審議不参加、欠…欠席、一…議長)	審議結果	高田	松本	河合	大門	力武	佐々木	廣谷	浅岡	福田	中川
		伸也	四郎	英紀	晶子	清	希絵	武	正広	太郎	博
令和6年度河南町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	一

全会一致の可決・同意議案	
件	名
かなんまちづくり基本条例の一部を改正する条例の制定について	河南町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
町長、副町長及び教育長の給料、手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	河南町税条例の一部を改正する条例の制定について
河南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	河南町介護保険法関係事務手数料条例の一部を改正する条例の制定について
河南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	南部大阪都市計画山城バイパス沿道地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について
令和6年度河南町一般会計補正予算（第1号）	令和6年度河南町下水道事業会計補正予算（第1号）
監査委員の選任について	



問 町長に聞く !! 人口減少問題はアイデアで

答 創意工夫を凝らして行きたい



問 「人口減少により自治体が消滅する可能性がある。その中には河南町も含まれる。」と言われて驚いてから10年。

本年4月に再検討の結果が出たが、本町は変わらずなく『消滅可能性自治体』とされています。

これまで本町も町の将来を見据え町長先導のもと人口減少をくい止めるための施策を打ち出して来ました。

しかし、同じ施策を行うにしても、我々町村と財

政的にも規模の大きな自治体とは、肩を並べることままならない。

そこで、何か一つ本町独自の特色を生かせる取り組みはできないものか。

例えば、大阪府が進めている子ども・子育て世帯に対する食費支援事業の対象者18歳までとされるものを、河南町内で住み

子どもを産み育てる条件が整えば、その「お子さんの一生分のお米の心配は要りません。河南町が提供します」と打ち出す



▲河南町独自の食費支援事業を創設する考えは？

のはどうか。

それらは、地場産業を活かし、なおかつ町の大きな宣伝効果に繋がると思われる。

これはあくまでも一つの例ですが、インパクトの強い他の自治体に例を見ないものを持つてくる必要性を感じるが町長の考えを伺う。

答 本町では、「子育て・教育は河南町で」を合言葉で、妊娠から出産、そして子育て・教育を一貫して支援していく考え

である。これまで数々の施策を行ってきたところであるが、引き続き創意工夫を凝らし、子育て世代が住みたくなるような町づくりを進めて行きたいと考える。

経費を最小限に、成果を最大限に!!

問 平成23年11月にそれまで弘川地区にあった消防団河内分団の車庫が、さくら坂住宅入り口付近



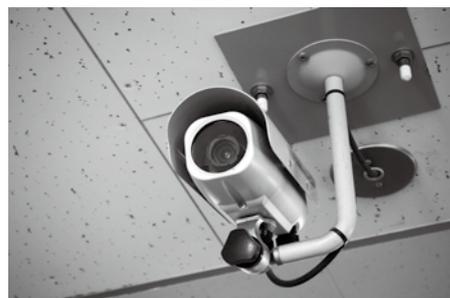
▶河内分団の車庫

に移設された。

当時から、防犯のため交番所も同時に併設できないものかと多数の要望があり、私も各方面に働きかけを行いました。

しかし、管轄する大阪府では、現況の交番・駐在所も縮小する傾向にあるとのことである。

そこで、普段利用されていない消防車庫敷地内の駐車スペースに警察車両を一時駐車させ、赤色灯を灯し警察官が在すれば、かなりの抑止力を発揮



▲防犯のための取り組みは？

揮できると考えるが。また、防犯のため以前から提案している家庭用防犯カメラ設置に伴う補助金制度についても併せて伺う。

答 消防車庫敷地内への警察車両の一時駐車については、関係機関と協議し検討する。

また、家庭用防犯カメラ設置に伴う補助金制度の実施については、他市町村の状況を踏まえ研究する。

これが聞きたいのね

一般質問は、町のさまざまな課題などについて、議員が町執行機関に質問し、見解を求めるものです。

一般質問(個人)

福田 太郎 議員



問

今後の町行政改革の展望については

答

子育て世帯が住みたくなくなる
まちづくりの充実

将来の町人口減少
対策について

問 若年中年層住民の皆様

のUターンに向けた、
住みたくなる魅力湧く支
援事業の取り組みは。

答 Uターンや町に住み
続けてもらうように、三
世代同居近居支援事業を
実施している。また、教

育・子育て世帯への経済
的支援策として、第二子
以降の保育料無償化事業、

学校給食費無償化事業、

乳幼児給食費の副食費助
成などを実施。引き続き、

これらの取り組みを継続
し、子育て世帯が住みた
くなるまちづくりのさら

なる充実に努めていく。

介護保険支援制度
について

問 日々の日常生活に困
窮されている低所得者高
齢者や低所得世帯主と同
居高齢者の世帯での要支
援者1・2支援及び要
介護1・2在宅介護給
付支援事業における負担
軽減は。

答 さらに負担軽減措
置については、今後の財
政支援も見極めながら慎
重に検討していく必要が
あると考えている。

問 我が町での、対話型
A1とさらなる認知症対
策事業の推進に向けての
今後の取り組みは。

答 認知症対策事業につ
いて対話型A1ロボット
の活用などは、先進的に
導入している機関などに
おける効果や課題などを
研究したい。

高齢者保健福祉支援
について

問 富田林警察署の交通
安全講習会などにおきま
して高齢運転者の講習会
を開催し高齢者の交通事
故の現状の報告・そして
自主的な免許証返納など
について呼びかける。

答 富田林警察署の交通
安全講習会などにおきま
して高齢運転者の講習会
を開催し高齢者の交通事
故の現状の報告・そして
自主的な免許証返納など
について呼びかける。

町高齢ドライバー
対策について

問 高齢者ドライバーの
免許更新状況と免許返納
者の支援促進事業について、
更なる支援促進事業に対
して今後更にどのような
取り組みをしていただい
てほしいのか。

答 富田林警察署の交通
安全講習会などにおきま
して高齢運転者の講習会
を開催し高齢者の交通事
故の現状の報告・そして
自主的な免許証返納など
について呼びかける。

今後の子育て支援
について

問 いじめと不登校の状
況に対して、改善に向け
た取り組みは。

答 今年度からスクール
ロイヤー、臨床心理士、
スクールソーシャルワー
カー、スクールカウンセ
ラー等の専門家を交えた
学校園支援チームを設置
し、いじめ問題や不登校
児童生徒の対応をしてい
く。また、校内での居場
所づくりを行う出張型教
育支援センターについて、
今年度から週1から2に
拡充した。

問 子供たちの携帯電話
でのネット依存対策の取
り組みについては。

答 今後もサイバー防犯
教室や情報教育の講演会
などを実施。また、GI
GAスクール構想で作成
したルールを徹底し、ネ
ット依存などに対する注
意喚起と指導を行う。

問 子供たちの脱法ドラ
ッグ使用において、ゼロ
への促進に向けた支援施
策は。

答 薬物乱用の危険性を
正しく認識することや、
自分の大切さに気付く強
い心を養える教育を進め
ていく。



▲高齢者ドライバーの免許返納者への
支援事業については？

高田 伸也 議員



問 カナちゃんバスの年末運行の見直しは

答 増便や間隔など運行方法を検討している

公共交通の課題解消

問 高齢者や妊産婦、障がい者の方が利用するタクシー・バスの運賃の一部助成する取り組みは。

答 利用促進に繋がる事業は今後検討する。

問 大阪芸術大学とのコラボなどにより、公共交通の維持を目的とする独自のクラウドファンディングを検討できないか。

答 町が進める事業に対して有効であると考え、ため、導入を検討する。

問 カナちゃんバスの昨年末の試験運行の課題と利用実績、及び本年の年末年始の運行計画は。

答 昨年の12月29日から31日まで、午前2便、午後2便、試験運行し、3日間の利用者数は、119人であった。「増便」、「運行間隔」等、運行方法を検討している。

問 先般の大宝地区でのバス事故では、途中のバス停で、何の連絡もなく30分以上も待った方がいた。バス遅延情報をLINEで発信できないか。



▲バスの遅延情報の連絡は

防災と減災について

答 バスロケーションシステムも含め利用者への伝達手段を検討したい。

問 台湾地震では、発生から2時間後には避難所の体制が整い、受入れが可能となったが、災害時の本町の団体・組織と連携とその体制は。

答 災害時は、消防団や自主防災組織等と連携し、連携協定を締結している31の市町村や21の団体や企業との役割分担についても研究する。

問 短期間に小学校周辺や通学路でカーブミラーが連続して倒れた。重く、風を受けやすい、危険なカーブミラー78本の倒壊を防止する検査時期と倒壊後の再設置の基準は。

答 本町では、4年度1本、5年度5本の計6件のカーブミラーの倒壊が発生した。また住民の通

▲小学校の通学路で倒壊したカーブミラー



▲根元が錆びて危険なポール

報で倒壊危険がある3基の撤去・設置も順次行っている。点検の時期は秋以降を予定しており、安全確保を優先し、費用面も配慮し再設置する。

自治会と自治体の関係

問 本町の「防犯灯」の設置費用や電気代は、自治会等の住民側が負担し、町が一部助成しているが、すでに、費用の住民負担をなくしている自治体もある。電気代や器具交換費用も半額の補助を行う等、住民の負担軽減に向けた本町の見解は。

答 防犯灯の電気代は、昨年度は、燃料費高騰により半額程度の補助を行ったので、今後も同様の対応をする予定である。見直しについては、照明器具の仕様や設置状況等、各地区に不公平が無いように研究したい。

問 ごみ出しが困難な高齢者や障がいのある方を支援する仕組みを考えられないか。

答 茨木市の「スマイル収集」、吹田市の「安心サポート収集」、摂津市の「ふれあい収集」など制度の研究を行う。

松本 四郎 議員



問 事業推進の財源確保への取り組みは

答 ふるさと納税等の取り組みを拡大

新型コロナウイルス感染症
5類移行後の現状と
今後について

問 令和6年度から65歳

以上の高齢者等が対象となる新型コロナウイルスの定期接種が実施されるが、接種場所、接種時期は。また今後個人負担となる接種費用の負担額はどのくらいか。

答 接種場所は各医療機関で年1回実施。実施時



▲新型コロナワクチン定期接種の個人負担をもう少し減らせないか

問 個人負担額3000

期は季節性インフルエンザの定期接種と同時期を想定している。接種費用については総費用15300円に対し、国の基金から8300円を助成。残りの7000円について、富田林医師会管内4市町村で協議し、4000円を各市町村が負担。3000円が接種者の個人負担となる予定。

事業推進のための財源確保に向けた取り組みについて

問 「ふるさと納税」に関する令和5年度実績額とその活用事業は。

答 受入件数1052件 受入額2907.3万円で、寄付者皆様の河南町への思いを反映し、教育のまちづくりに関する事

業に1210万円、魅力ある「かなん」まちづくり
に町長が必要とする事業に950万円、その他5
事業と併せ、7事業に活用している。

答 町が4000円補助し、個人負担額は3000円

今後富田林医師会と管内4市町村で協議し、決定する。

問 「ふるさと納税」を更に増やす為の施策・取り組みは。

答 地域産業の活性化及び観光の振興になることから、引き続き返礼品提供事業者の募集、新たな返礼品の拡充に取り組むと共に、寄付者のリーダー確保への取り組みや、ポータルサイトの拡充、広告掲載等、ふるさと納税の獲得に向け積極的に活動していく。

問 「企業版ふるさと納税」に関する令和5年度

の受入実績は。

答 令和5年度における企業版ふるさと納税の受入件数は1件で、金額は100万円。

問 「企業版ふるさと納税」の現在の取り組み状況及び今後の取り組みについて

答 企業版ふるさと納税の確保に向けて、委託業者と契約し募集等を行っている。昨年度は本町の募集に係るパンフレットを作成、業者の営業先・取引先等約400社に送付した。企業版ふるさと納税は、自治体にとって地方創生事業の実施にあたっての財源確保、企業

問 地域公共交通（コミュニティバス）運行費用の財源確保として「クラウドファンディング」の活用は。

答 事業主体やプロジェクトの内容によって適切かどうかの判断も必要と考えている。なお、町が進めるこれからの事業に対してクラウドファンディングは有効であると考え、今後導入について検討する。



▲「企業版ふるさと納税」の今後の取り組みは



問 特産物を指定し苗などの補助は出来ないか

答 農業経営で抱える問題への支援を検討する

将来の介護保険料について

第1位	千早赤阪村	4, 666円
第7位	河南町	6, 120円
第43位	大阪市	9, 249円

問 第1号保険料基準額6120円は、大阪府の市町村と比較してランキング形式にすると順位はどうなのか。

答 府内43市町村のうち7番目に低い保険料で、府内の10町村では3番目に低い保険料となっている。

問 近隣市町村の千早赤阪村(4666円)や河内長野市(5980円)と河南町より安い。なぜ安く

▶各サービスに繋げるためには？



出来ているのかの分析は、**答** 千早赤阪村の特徴として第1号被保険者が微減になっている。千早赤阪村や河内長野市も河南町と第1号被保険者当たりの標準給付費及び地域支援事業費は同水準であることから、準備基金取崩し額が本町より多い状況のためと思われる。

問 出来るようにするためにも総合事業の取り組みが大切。現状の課題と解決策は。

答 地域ケア会議の課題は、ケアマネから利用者

農業の特産物について

に十分助言内容が伝わらず、短期集中予防サービスの訪問Cや通所Cにながらないこと。ケアマネが利用者に助言を伝える際に、本町の地域包括支援センター職員が可能限り同席して各サービスにつながるように対応していく。

問 富田林の海老芋が地理的表示産物に認定された。地理的表示産物とは何か。

答 地理的表示保護制度、いわゆるGI制度は、その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で長年育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を地域の知的財産として保護されるもの。

問 里芋の石川早生を地理的表示産物に認定できないのか。

答 3つの要件が必要。



▲石川早生の里芋

1つめは、産品に関する基準として、特定の場所、地域などを生産物とするものであること。25年以上の生産実績があること。2つ目は、名称から産地や特性を正しく特定出来ること。商標登録がされていないこと。3つ目は、生産工程を管理する生産者団体があること。これら全ての要件を満たす必要があるため、非常にハードルが高い。

問 町として推奨する特産物として指定し、苗などの補助をすることは出来ないか。

答 農業従事者に対する支援として、新規農業参入支援、農作物被害防止事業補助金、いちじく被害防止事業補助金、肥料価格高騰緊急対策支援金事業などを実施してきた。農業者に対する必要な支援を引き続き実施していく。苗に対する補助については、必要であれば検討する。

大門 晶子 議員



町長の抱負について

問 事業を遂行するにあたり、町長として、どのようにリーダーシップを発揮されるのか。

答 人口減少社会への対応が一番大きな課題。住民の皆さんと対話しながら



▲住みよいかなんみんなが輝くまちづくりを目指して

問 「創造性を発揮する」ためには

答 住民の声を聞くというのが一番重要

ら行政を進める。職員との協力も大事。職員のアイデアは、庁議で方向性を決め、前に進める。職員と情報の共有を図り、職員が一丸となって進めていくのが大きな柱。

問 町中心地区の整備基本計画を示されたが、今年度の動きはあるのか。

窓口業務の開閉時間は

答 5年度に、現況測量と地区計画を策定した。6年度は府の関係機関や地権者との協議を進めてまいりたい。

問 マイナンバーカードの普及に伴いコンビニ交付も利用できるようになったので、延長窓口を廃止する自治体が多くなっている。影響はないのか。

答 午後5時以降の戸籍の届け出は、届け出の内容について連絡、確認ができない場合は、仮受付となる。

問 その場合、どのような取り扱いとなるのか。

答 翌日に確認したうえで届出者に受理できた旨

の電話連絡している。

問 これを改善するには、他の自治体に合わせて閉庁時間を早めた方がいいように思うが、いかがか。

答 府内市町村の動向を注視し、対応していく。

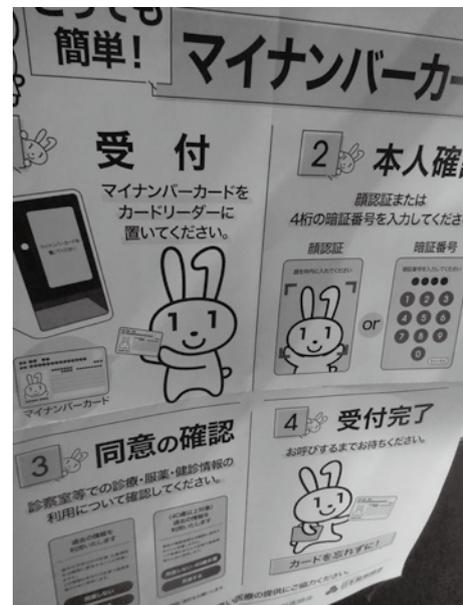
マイナンバーカードの課題について

問 個人情報などをめぐるトラブルが相次いでいることを背景に、マイナンバーカードを自主返納する動きがある。本町での返納件数は。

答 利便性がないとの理由で取消しは3人。返納は7人。

健康保険証の一体化について

問 マイナ保険証を持つ



▲マイナンバーカードの課題について

ていても持ち歩くのが嫌な場合、資格確認書を発行してもらえるのか。

答 一定の基準があり、このような事例の発行は想定されていないが、国

の方で保険証利用登録を解除する方法について、システム等の準備がされていると聞く。

問 資格確認書の有効期限は。

答 一年とされている。

管理運営方法について

問 高齢者や障がい者施

設で保険証の預かりの管理で、マイナ保険証は本人確認のため、暗証番号付きで預かると悪用されないか気になるが。

答 施設側でカードを管理することも可との国の見解が示されている。鍵つきロッカーなどで保管することや管理の記録をつける。暗証番号は慎重に扱い、原則として、法定代理人以外の人に知らせるのは適当ではない。

力武 清 議員



問 高齢者の免許返納に対する問題意識は

答 町として課題であると考えている

問 安心して返納できる、気楽に出かけられるよう、バス・タクシーのチケット券の発行を。

答 カナちゃんバス・やまなみタクシーの運賃は100円で運行して誰かが利用しやすい運賃になっている。

問 らくちんライフサポート事業の概要は。

答 社協で実施しているもので、簡単な家事援助・買物代行・家の掃除・洗濯ゴミ出し、など30分500円で手伝いするもの。また、要支援1・2の該当者に対して通院や買物支援をやっている。

問 要支援者でないという利用できないというものを65歳以上の方は誰もが利用できるように。

答 運転ボランティアの確保など課題が多い。

問 ブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故が多い。事故防止の観点から改造費用に助成を。

答 事故抑制のため、先

進事例を研究していく。
問 車の数が少ない住宅地内で自動乗降空間の設置を。

答 バス停車位置が不規則になるから安全上問題がある。

問 バス停の変更、増設を。

答 利用促進的な観点で必要であれば見直す。

成人後見人制度について

問 成人後見人制度の概要は。

答 認知症、知的障がい、精神障がいなど判断能力の不十分な方々を保護し、

支援する制度。

問 依頼する費用は。

答 弁護士等に要する費用は、約10万円から30万円。町長申立ての場合は2万円程度。権利擁護を含む総合相談を行っている。

問 多額の費用を捻出できない方に対する対応は。

答 身寄りのない方に対して、町長申立てによる形になる。

下水道の事業について

問 大宝地区の雨水対策の進捗状況は。

答 平成12年度から14年



▲カナちゃんバス停の増設を



▲遠足は安全第一に考えて

度大宝1丁目西公園北側から東へ約380m、近つ飛鳥小学校東側の工事を実施。令和4年度から大宝交差点から梅川放流の区間整備し今年度完成を目指している。令和4年度に1丁目から4丁目にかけて実施計画を行っている。

問 マンホール蓋のポケモンなどキャラクター蓋の設置を。

答 観光の活性化などの波及効果も高いことから検討していく。

万博について

問 交通手段はどうする。
答 バスの移動を想定している。

問 貸切バスの確保は困難と思うが。
答 確保は困難が予想される。

問 ガス爆発事故が発生したPCB汚染、台風など自然災害も指摘されている。安全性の確保は。

答 万博協会が確保するものと考ええる。

問 2回目の取組みは各自治体独自の取組みだが本町はどうされるのか。

答 希望される方からオンライン申請で一日券を配布する。

これが聞きたいのねん

一般質問(個人)

佐々木希絵 議員



問 PFAS汚染、町内の状況は

答 梅川で44 ng/L検出

問 PFASとは。

答 有機フッ素化合物の総称であり、焦げ付きにくいフライパンや防水服など多用途に使用されてきた。

問 国際的に基準はあるのか。

答 国際的に統一の基準

はないが、国内では水道

水の目標値を50 ng/Lと定めている。また、WHOの専門機関である国際がん研究機関がPFASの1つを喫煙やアスベストと同等の「発がん性がある」に分類した。

問 町の状況は。

答 梅川の石川合流直前

地点の調査では44 ng/Lであった。水道水では青崩浄水場で7 ng/Lであった。

問 農作物の安全性確保の視点も必要では。

答 農作物の指標がまだないが、注視していく。

問 検査箇所を増やして実態把握をしては。

答 検討する。

能登半島地震から町の防災に変化は

問 町職員を現地に派遣したが、詳細は。

答 合計9人を派遣した。避難所の運営支援として、配膳、トイレ清掃などをした。

問 能登半島地震では他の地震と比べても復旧が

遅れていると聞くが。

答 半島なので被災地に行くのも困難である。ベースキャンプからでも被災地まで2時間要するたため、作業が思うように進まない。

問 町ではどのような地震被害を想定しているか。

答 上町断層地帯でマグニチュード7.5から7.8で、全壊321棟、半壊399棟、避難者453人という状況である。

問 発災後の想定は。

答 発災直後から1週間は断水や停電などで混乱が続く、外部からの支援も不十分だと予想している。

問 ライフラインはどのような工程で復旧していくのか。

答 ライフラインの事業者が復旧する。普段からライフライン事業者とは意見交換し、なにをしていくかは地域防災計画に記載している。

問 自宅避難の住民への避難支援と情報提供は。

答 自宅避難者へも避難所にいる住民と変わりなく物資の供給はしていく。情報提供は防災無線やSNSなどを利用する。

問 各家庭の備蓄を進めるために、期間限定の補助金や共同購入など進め

答 現地で支援にあたった職員によると、各方面から食料・水・生活物資・炊き出しなどの支援があるので物資が不足することはないが、トイレの利用には苦労したと聞いた。各家庭でトイレの備蓄を進める必要がある。



▲非常用トイレの共同購入促進を

▲町内のPFAS汚染源の特定を

廣谷 武 議員



問 計画から3 2年山城バイパス

答 なんの進展も見られない

教育のまち、河南町
自然体験学習について

問 河南町の学校教育の中では、自然体験学習をどの様に取り入れているのか。

答 1、2年生は春見つけ、夏見つけなどを通して、身の周りの自然の四季や移り変わりを学ぶ。3、4年生は、社会科副読本「わたしたちの河南町」を利用し、河南町の地域や文化に特化した内容を学ぶ。3年生では河南町探検をテーマにした

校外学習として地域の公共施設や商業施設、自然地形などを巡る。4年生では河南町に受け継がれて来たものとして祭りなどの行事を学ぶ。5年生では、田植え体験、林業体験学習を行っている。

問 河南町の歴史についての教育は。

答 金山古墳、葛城修験、西行法師、秋祭りなど、受け継がれてきたものや行事について学習し、4年生では、ため池や水路について取り上げ、歴史的背景や現在に至る経

過、継承のための取組について地域の方々の知恵や工夫を学ぶ。

問 河南町のまちづくりアイデアを子供たちから聞いているのか。

答 5年生の学習で地域の題材を選び本やインターネットで調べたりしたことを記事にしたり発表する。その中で、互いの発表を聞き合う事で、地域のいろいろな魅力について自分の考えを深めている。

問 自然体験学習でしっかり河南町を知るには。

答 一人一人に河南町の良さを聞いた時に、みんなが答えられるような、教育を進める。

南部高速道路について

問 計画から9年経ちました。進捗状況は。

答 令和3年7月に国の新広域道路交通計画において有料道路事業を前提とする高規格道路調査中

河南町脱炭素ロードマップ



路線として位置づけ。令和5年に重要物流道路の候補路線として指定された。直接的には無し。

府道柏原駒ヶ谷千早赤阪線、山城バイパスについて

問 計画から30年以上経っている。進捗状況は。

答 山城バイパス整備事業が休止になっていたが令和2年度に10年間を対象とした計画では再開となる。具体的には無し。

カーボンニュートラルについて

問 住民の皆様浸透さ

答 令和4年3月にゼロカーボンシティを宣言し、今年度に河南町脱炭素ロードマップを策定。ロードマップを推進するため、電気自動車等充電設備設置費補助事業や太陽光発電システム整備推進事業の実施のほか、造林業などに対する林業振興補助におおさか河内材を利用した出生記念、木製玩具、積み木や苗木の配布、住民の地球温暖化防止意識向上のための啓発活動などを実施した。

YouTubeで議員の 一般質問が見られます



各議員が定例会議で行った一般質問は、YouTubeで配信を行っていますので、ぜひ一度、ご覧ください。

町ホームページの「町議会」河南町議会一般質問動画のページからご覧いただけます。

正・副議長研修会

この日は、議員のなり手不足は「住民自治の危機」や、ハラスメント「自治体議員が注意すべきポイント」、将来の地方議会を担うのは誰か？ などのテーマで研修が行われ、これからの地方議会議員の資質向上に活かせる内容を学びました。



5月21日に、令和6年度町村議会議長・副議長研修会（東京国際フォーラム）が行われ、河南町から中川議長と佐々木副議長が参加しました。

南河内郡町村議会議員等研修会

南河内郡議長会研修会が、7月31日に河南町で開催され、2町1村（河南町・太子町・千早赤阪村）の議員が参加されました。

テーマは、「町村議会議員なり手不足問題を考える」で、東北大学大学院の河村和徳准教授に講師を務めていただきました。

ご講義いただいた内容は、非常に関心の高い内容でした。参加された議員の皆さまは、河村先生のお話に、真剣に耳を傾けておられました。



町議会議員選挙

【告示日】

令和6年9月24日(火)

【期日前投票日】

令和6年9月25日(水)

から

9月28日(土)

【投開票日】

令和6年9月29日(日)

編集後記

7月4日(木)にかなん桜小学校3年生が議場見学に訪れました。普段入ることのない場所を見学した子どもたちは、興味深そうに室内の様子を観察していました。見学中、少しいですが自由時間がありました。子どもたちは、対面の友人に向かって、マイクの角度を調整したり、手を上げて発議するなど、議会関係者になり切り楽しんでいました。

議員のなり手不足が全国で問題になっている今だから、こうした機会を通じて少しでも議会に興味を持つ子どもが増えてくれることを願っています。

議会だよりを
アプリでも
読んでいただけます

スマホアプリ「マチイロ」で、議会だよりを配信しています。電車やバスなどの通勤・通学時間や、ちょっとした空き時間に、読んでいただけます。

※アプリは無料ですが、アプリのダウンロードや受信に通信料が発生する場合があります。



河南町議会では、一般質問の動画をホームページで配信しています
河南町ホームページ <http://www.town.kanan.osaka.jp/> (町議会)